

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030680301

病院施設番号： 030680

臨床研修病院の名称： 市立宇和島病院

臨床研修病院群番号： 030681

臨床研修病院群名： 市立宇和島病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	新市立宇和島病院および公益財団法人正光会宇和島病院臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	<p>病院の基本方針として「サブスペシャリティを持つジェネラリストを育てる」を掲げ、2年間で聴診、読影、心電図のスペシャリストにするための指導を行っている。</p> <p>研修医は、初年度から救急のファーストタッチを行い、基本的に初期段階においては2年次の研修医がバックアップし、さらに3年目以上の上級医がその後ろに控える「屋根瓦方式」を採用しており、多くの症例を先輩医師のフォローのもとに学ぶことができる。救急の診療圏域が広いとため、多くの救急症例を先輩医師のフォローを受けながら学ぶことができる。また、救急搬送されICUに入院した患者を対象とした「救急カンファレンス」を毎週行っており、複数科の指導医が診療科の枠を超えて指導している。</p> <p>実践だけでは知識が偏るため定期的な院内講義も行っており、全診療科指導医やコメディカル職員等も研修医の指導にあたっている。また、院内英会話研修会や研修医等が集まる英文抄読会なども定期的に行っている。</p>				
3. 臨床研修の目標の概要	各診療科において目標を設定した上で、ローテート前に指導医とカンファレンスを行い個別の目標等を設定する。EPOC2の評価項目に合わせて指導医が課題を与えるなどの指導や評価を実施している。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030680	市立宇和島病院	24週	4週
	外科	030680	市立宇和島病院	4週	
	小児科	030680	市立宇和島病院	4週	
	救急部門	030680	市立宇和島病院	8週	一般外来 1週 在宅診療 4週
	地域医療	147631	医療法人粉川ファミリークリニック	5週	
		147632	医療法人松本クリニック		
	産婦人科	030680	市立宇和島病院	4週	4週
	精神科	030681	正光会宇和島病院	4週	
一般外来	030680	市立宇和島病院	4週		

病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030680	市立宇和島病院	4週
				週
				週
				週
選択 科目	整形外科	030680	市立宇和島病院	47週
	脳神経外科	〃	〃	
	心臓血管外科	〃	〃	
	皮膚科	〃	〃	
	眼科	〃	〃	
	泌尿器科	〃	〃	
	放射線科	〃	〃	
	耳鼻いんこう科	〃	〃	
	臨床検査科	〃	〃	
	病理診断科	〃	〃	
	内科	030676	愛媛大学医学部附属病院	
	救急科	〃	〃	
	外科	〃	〃	
	脳神経外科	〃	〃	
	整形外科	〃	〃	
	泌尿器科	〃	〃	
	麻酔科	〃	〃	
	小児科	〃	〃	
	産婦人科	〃	〃	
	精神科	〃	〃	
	皮膚科	〃	〃	
	眼科	〃	〃	
	形成外科	〃	〃	
	耳鼻咽喉科	〃	〃	
	放射線科	〃	〃	
	病理診断科	〃	〃	
リハビリテーション科	〃	〃		
総合診療科	〃	〃		
臨床検査	〃	〃		

備考：(1) 病院で定めた必修科目

救急部門の研修として麻酔科を4週選択する。基幹型研修医は1～2年次の間で選択し、アイプログラムたすきがけ（愛媛大学基幹型）研修医は1年次で選択する。

(2) 基幹型臨床研修病院（市立宇和島病院）での研修期間

52週以上とする。

(3) 臨床研修協力施設での研修期間

1施設あたり最大8週とする。また、原則として合計12週以内であること。

ただし、へき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合や、研修ノルマを達成するために期間を延長する必要があると認められる場合はこの限りでない。

(4) 2年間を通じて救急部門の研修とみなす休日・夜間等の宿日直回数

40回（8週分）以上とする。

(5) 愛媛大学医学部附属病院（協力型相当大学病院）における研修期間

研修は4週を1単位とし、原則として合計12週以内とする。（当院基幹型研修医のみ適用）

(6) 研修は4週（以上）を1ブロックとして行い、原則として4週未満の研修単位では行わない。

